

令和6年度
精神保健福祉を考えるつどい

ともにささえ、ともに生きる
～クラブハウスの実践から考える～

令和6年11月16日（土）

午後1時～3時半（12時半開場）

会場 国立精神神経医療研究センター病院：ユニバーサルホール
（車でのご来場はご遠慮ください）

内容 当事者が主体になれる取り組みを通じて、地域で「支えあい」ながら生きるを考える

参加費200円（当事者は無料）

今年度つどいは、昨年のピア活動に引き続き、クラブハウスモデルに着目しました。「クラブハウス」は、精神障がいのある方が、自信を持って社会参加できる場として、当事者主体の取り組みを続けています。クラブハウスの活動を通して「当事者主体の支えあい」について考えてみたいと思います。

第一部

『クラブハウスモデルが大切にする“支えあいの支援”の可能性』

出演者

中部学院大学
人間福祉学部 人間福祉学科
准教授 加藤大輔（かとうだいすけ）氏

『クラブハウスで感じる支えあい』

出演者

クラブハウス
（ゆうせん/サン・マリーナ/はばたき）

第二部

テーマ
『あなたにとっての支えあい』

出演者

就労生活支援センターほっと
市村氏
高橋氏

地域生活支援センターあさやけ
八木沼氏

救護施設黎明寮

岡田氏



主催／小平地域精神保健福祉業務連絡会
後援／小平市
小平市福祉協議会

問い合わせ／サングリーン
TEL/042-345-1585（担当 丸山）

会場案内図→

